

## ごあいさつ

いつも飯塚信用金庫をご利用、お引き立てをいただき、誠にありがとうございます。

当金庫の平成28年度上期の経営内容、事業内容、地域貢献等につきまして、ご理解を一層深めていただくため、本年度も「いいしんレポート」を作成いたしました。ぜひご覧いただき、当金庫の健全経営へのご理解を深めていただければ幸いです。

当金庫は、これからも積極的な地域経済活性化への貢献を通じ、地域の皆様からご支持、ご評価いただけるよう努めて参ります。今後とも変わらぬご支援、ご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

理事長 緒方 隆博

## 企業理念

### 地域を創造するトータルコア企業

#### 概要

名称	飯塚信用金庫	会員数	15,837人
所在地	福岡県飯塚市本町11番42号	店舗数	19店舗
創立	大正11年12月22日	役員数	210名
自己資本	241億25百万円	営業地区	福岡県一円
預金残高	233,821百万円		(平成28年9月30日現在)
貸出金残高	135,070百万円		

## 秀吉の一夜城



筑豊地区には戦国時代、豊臣秀吉の九州平定ゆかりの山城があり、「秀吉の一夜城」として知られる嘉麻市の「益富城」もその一つです。

天正15年(1587年)豊臣秀吉は、30万の軍勢とともに小倉城に入り、4月1日には、秋月攻略の火ぶたが切られた。秋月二十四城の一つ豊前の岩石城を一日で陥落させた豊臣の軍勢は、怒涛のごとく大隈の町に押し寄せた。岩石城の落城の知らせを受けた秋月種実は、種長の守る古処山本城へといち早く逃れた。秀吉は、まず嘉麻・穂波の村々にかがり火を焚かせた。

次に、大隈町民に命じて、町中の戸や障子を益富城へと運ばせ、一夜にして仮城(トリック)を築いた。その光景を前にした秋月父子は、おそれおののき、戦わずして降伏した。

秀吉は、協力した大隈町民に対し、愛用の陣羽織と佩刀(はいとう)を与え、お墨付きをもって永代貢税を免除したとされる故事が残っています。

この故事にちなみ、400年以上たった今も、毎年10月下旬に市や地元ボランティアの手による、城跡に一夜城が出現。夜はライトアップされ、様々な催しが開催されています。